台湾・金門島における展覧会「金門雕堡芸術館-18 の個展」のご案内
総合デレクター　蔡国強

拝啓

　初夏の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素は、わたくし蔡国強の活動にご支援賜り誠にありがとうございます。この度、台湾・金門島において美術、音楽、演劇、映画、建築といったジャンルを超えた総合アート展の開催が決定しましたのでご案内いたします。

　この展覧会は、私のこれまでの作品シリーズ“ Everything Museum ”の一環として、金門島に現存する軍事施設トーチカを展覧会の場として 18 人（組）のアーティストの作品を個展形式で開催いたします。

　　金門島は、私のふるさと福建省泉州の町からわずか数キロの海上にあります。小さい頃からの両岸の砲火は、私の人生とアートの今に繋がっています。しかしながら、その政治的な宿命から、金門は私の仕事の中で、近くて最も遠い場所でもあるのです。新聞や TV は毎日のように世界中の戦争やテロや爆発を伝えています。金門にあっても、中国と台湾の 50 年をかけた衝突や戦争の舞台であり続けねばなりませんでした。いま、この海峡の最も重要な戦場ー金門に文化芸術のイベントを開催すること、それはとても意義深いことと思っています。

　1992 年になって軍事管制が解かれたことで、皮肉にも金門には豊かな自然と土地の文化が残りました。一方で、10 万の軍隊の大半が撤退した後の島の産業は新しい出口を探そうとしています。金門は豊かな自然の中に人工の要害を持つ島です。そこは美しく豊かであり、そして厳しく悲しくもあります。私たちはこの金門の次なる未来を開くために、この 18 のすばらしいプロジェクトが、その始まりの波となることを心より願っています。

敬具

蔡国強

「金門雕堡芸術館-18 の個展」
総合デレクター　蔡国強 / Cai Guo-Qiang
Cai Studio
40 East First Street #1B New York NY 1003
Tel: (1) 212.995.0908　Fax: (1) 212.254.0336
e-mail: studio@caiguoqiang.com
www.caiguoqiang.com

金門　雕堡（トーチカ）　芸術館-18 の個展　　《展覧企画の理念と計画》

〈本展覧会〉

名称：「金門　雕堡（トーチカ）　芸術館-18 の個展」
日時：2004 年 9 月 11 日から 2005 年 1 月 10 日まで
場所：金門県南山陣地、塔山要塞、古寧頭慈湖防衛施設、長寮再計画区など

〈プレ展覧会〉

名称：「金門　雕堡（トーチカ）　芸術館-18 の個展 作品プラン展」
日時：2004 年 7 月 30 日から 8 月 22 日まで
会場：国立歴史博物館（台北）

指導機関：教育部、国防部、内政部、交通部、文化建設委員会
主催機関：金門県政府、国立歴史博物館
協賛機関：金門防衛司令部、金酒実業株式会社、金門国家公園

出展アーティスト（画順表記）
大崙尾芸術工作隊（何時・燕三）Da Lun Wei Art Squad　王文志 Wang Wen-Chih
汪建偉 Wang Jien Wei　沈遠 Shen Yuan　李錫奇工作小組 Lee Shi-chi Studio
李明維 Lee Mingwei　林惺嶽 Lin Hsing-Yueh　呉東旺 Tung Wang Wu
姚謙 Yao Chien　垠凌 Yin Ling　蔡明亮 Tsai Ming-liang　張永和 Chang Yong He
曾力 Zeng Li　謝素梅 Su-mei Tse　譚盾 Tan Dun　費大為 Fei Dawei
劉小東 Liu Xiao Dong　Ying Bo 銀波

総合デレクター：蔡国強 / Cai Guo-Qiang

1. 主旨

金門は、かつて両岸冷戦の最前線でした。この半世紀を振り返ってみると、この地は古寧頭戦役と八二三砲撃戦という衝撃的な戦闘が勃発し、多くの軍人と民衆がその尊い命を失いました。金門の特殊な地理的位置は、冷戦時代の両岸の指導者によって軍事と政治闘争の舞台となったのです。“ 大陸反攻 ” と “ 解放台湾 ” という政策は、金門を跳板（スプリングボード）の道具として使用したのです。現在武器は絶え間なく進化し、戦いは砲弾戦からミサイル戦に変わり、同時に両岸の関係と国際情勢においても金門を取り囲む環境は大きく変わりつつあります。金門という冷戦の地理的最前線は時代の変遷の中でその役割を終え、過去の悲惨な歴史はすでに風化されようとしています。現在金門の防衛施設と戦地は、冷戦時代における記憶のモニュメントとなりました。

金門で開催される展覧会は、アーティストたちが当地にある独特の大型トーチカの建築群と各戦地の構造物を用いて、孤独、恐怖、暴力、死などが満ちた空間を活力的、交流的、創造的、精神的に満ちた空間へと改造することにあります。将来の計画では、全群島にある約 2000 基のトーチカと軍事施設において、その 3 分の 1 の施設を歴史の証人としてそのままの形で保存し、3 分の 1 は美術館と音楽ホールなどを視聴芸術施設として改造していきます。そして残りの 3 分の 1 の施設は世界の有名なアーティストに依頼し、1 つ或いは複数のトーチカを選んで、永久的に残る作品を創作することを計画しています。今後、数年あるいは数十年の活動の累積が、金門をオリジナルのインスタレーション･アート、ランドスケープ･アートとランドアートで満たし、さまざまな文化活動の発展を擁した宝島となって世界各地から参観する人たちを吸引することを願っています。展覧会に参加するアーティストは、まず両岸出身者から始め、今後アジアや全世界に広げていきます。視覚アートを主とし、映画、建築、音楽、演劇などの分野の芸術をも含んでいきます。
金門は、時勢、地勢ともに人の和が集まる創造時期を迎えたと言っても良いでしょう。芸術活動を通じ、金門の人々が、“ 両岸に金門を知らしめ、金門が世界に向かって歩む ” という壮大な目標を達成できることを願って止みません。

2. 基本構想

トーチカとその他軍事施設を改造して美術館とすることが、展覧会全体のメイン構想です。トーチカそのものは建築上特殊な美学価値を有しています。その外形と迷彩は千変万化に富み、内部は多様性に溢れています。それ自体が１つの作品として観る人を惹きつけるでしょう。このトーチカ内において展覧会を行うことは歴史を通じて未来を覗き見る一種の方法でもあります。アーティストたちの創作を通じ、これらのトーチカ群は、再び新しい生命を得ることになるでしょう。
今回の展覧会は、両岸から 18 名のアーティストを招待し、個人或いはグループ展のスタイルをとって、金門において彼らの作品の製作と展示を行います。18 名のアーティストは、トーチカ或いは周囲の軍事施設と空間を選び、18 の独立した芸術館と展示会場に改造します。彼らの作品は、絵画、写真、インスタレーション、映像、演劇、パフォーミングアート及び現地住民と協力して創作するコラボレーションといった現代芸術の表現手法を用い、トーチカ内外の空間を利用して現地で創作活動を行っていきます。

3.　開幕セレモニーおよび講演会スケジュール

2004 年 9 月 10 日（内覧会）
11:00〜13:00　記者の招待ランチ
14:00〜17:00　メディアの展示会作品の参観、アーティストへのインタビュー

2004 年 9 月 11 日
8:00 〜10:00　両岸文化芸術記者の朝食会
11:00〜12:00　開幕セレモニー
14:00〜17:00　開幕演劇及びパフォーマンス

2004 年 9 月 12 日
09:00〜12:00　特別講演
14:00〜17:00　評論家の座談会

4.　併催企画

金門　雕堡（トーチカ）　芸術館-18 の金門児童展

関連企画として、金門の小学校 18 校の個展を同時開催します。
それぞれの小学校から 18 のプラン（各校１プラン）を選定し、それぞれの小学校がトーチカ１基を使って作品を発表します。プランの内容は、各小学校で作品募集し、応募作品の中から１つのプランを選定します。選定にあたっては本展覧会総合デレクターの蔡国強が行います。

この展覧会は、金門の歴史を体験し、そして次なる歴史を創造するという本展覧会の主旨に子供たち自らが参加することを目指しています。このプロジェクトを通じて子供たちは、戦争と平和、破壊と建設のテーマを認識しながら、現代アートの創造過程を実践します。世界各地で活躍する華人芸術エリート達と同じ舞台で共演することは、小さいながらも国際の目と勇気を育むことでしょう。そして、子供たちとその家族の積極的な参加が、この土地と、その歴史と、その未来とを、確かに結び付けることでしょう。

名称：「金門　雕堡（トーチカ）　芸術館-18 の金門児童展」

日時：2004 年 9 月 11 日から 2005 年 1 月 10 日まで
場所：長寮再計画区

主催：金門県政府、国立歴史博物館

交通およびオープニング・ツアーのご案内

・金門島は日本の小豆島ほどの大きさ（約 150 平方㌔）で、人口は約 4 万人。
　福建省アモイから 2100m の距離に位置します。
・金門島へは、台北からジェット機で約５０分。台北松山空港から遠東航空、
　立栄航空、復興航空が毎日十数便就航しています。
・展覧会期間中は、空港～会場間のシャトルバスを用意しています。

●展覧会のオープニングに合わせて、台北から金門展覧会場を巡るツアーを企画しています。このツアーは台湾〇〇旅行会社が企画するもので、台北発、台北解散となります。※日本～台北間の空路はこのツアーには含んでいません。

〈ツアー内容〉
日程：2004 年 9 月 9 日～9 月 12 日（３泊４日）
料金：￥35,000.　１名
ツアー会社：台湾〇〇旅行会社（未定）

9/9（木）　台北シェラトンホテル泊
9/10（金）　10:00（台北松山空港）ー 11:00（金門尚義空港）
　　12:00　昼食、ホテルチェックイン
　　14:00　展覧会（内覧会）見学
　　18:00　夕食　※作家との歓談
　　金門〇〇飯店泊（未定）
9/11（土）　11:00　開幕式参加
　　午後より展覧会、オープニングパフォーマンス見学
　　18:00　夕食
　　金門〇〇飯店泊（未定
9/12（日）　08:30（金門尚義空港）ー 09:02（台北松山空港）
　　現地解散

上記ツアーのお問い合わせは以下までご連絡ください。
問い合わせ先：　P3　art and envirnment　Tel:03-3353-6866 Fax:03-3353-6971